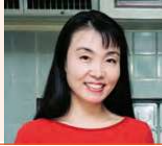


～永井晶子 Nagai Shoko ストーリー～

ノルドデザイン有限会社代表 / リベルテ風水研究室主宰

住宅・オフィス・店舗等の設計デザイン、マンション・ホテル・病院等のインテリアデザインを手掛ける一方、薬膳料理講座・クッキングセミナー、商品開発を行う



小さい頃から美しいものが好きでした。洋服・料理・食器・絵画・音楽・建物・・・何でも、キレイな色や形、いい香り、美しい音・・・「うわーキレイ!」と、心がうっとりしていました。今も同じです。

ところが、好きなことなのに、何故か、仕事にしようとは全く考えもしませんでした。大学では栄養学を勉強したくらいです。しかし、当時は、冬はしもやけで（今はよくなりました）・・・料理の仕事も栄養士の仕事もせず、小さい頃から習っていたピアノを教えたり、情報処理の勉強したり・・・そんな毎日でした。

きっかけは、30年くらい前のある日、あてもなく書店に入って何げなく手に取った一冊の雑誌でした。「室内」という、建築インテリア関係の月刊誌です。この日から新たな私の人生が始まりました。偶然というか、ホントに不思議な出来事でした。

それまでは、インテリアというと只々壁紙を選んで貼ったり、家具や小物を配置して飾るもの（表面的）だと勝手に思い込んでいましたが、読んでいくうちに「構築的で何とおもしろい!」と。俄然インテリアデザインに興味が湧いてきました。そして、インテリアコーディネーターという資格試験があることを知り受験しました。

資格を取っただけで、仕事もなく時間は沢山ありましたので、インテリア産業協会主催の「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」に応募しました。プレゼンテーションボードをつくるのがとても楽しかったことを覚えています。ところが? 提案ボードが奨励賞（通産省）をいただいていたしまいました。

この日から、現在の仕事である「建築インテリアデザイン」の世界に足を踏み入れることになりました。

振り返って思うのは、結局、子供の頃から好きだったことを仕事にしているんだなーと、改めて納得したような、驚いたような・・・不思議です。

受賞をきっかけに非常勤講師の仕事も入ってきました。忘れられない講座があります。ある公的機関のインテリアコーディネーター講座、数回シリーズ、資格を取って間もない頃でしたので、張り切って講座の準備をしました。しかし、回を重ねる毎に少しずつ出席者が減ってきました。「あっ、内容をもっと充実させなければ!」益々、講座の内容を濃くしていきました。

何故そうなったのか、どうすればよかったのか、今ならよく分かります。しかし、当時の私はまだまだ経験不足で心の余裕もなく・・・結局、内容の詰め込み過ぎだったのです。生徒さんに知識を沢山得てもらいたい! という一心で、空回りしてしまっていたのです。よい経験でした。相手の立場になって講義することの大切さ、教えることの難しさを痛感しました。

あれから30年、今でも各種学校等で非常勤講師の仕事もさせていただいています。お陰さまで、生徒さんの数が減ることなくなりました。多少、心に余裕を持てるようになりました。

そして、また面白いことに、今、料理の仕事もしています。料理教室やクッキングセミナー等です。「しもやけ」であんなに避けていた環境なのに・・・、これも不思議です。

よく考えてみると、頼まれたこと、出来ることをやっていたら、今のような仕事形態になってしまったようです。そして分かったことは、結局、「私は人が好きだ」ということでした。そうであれば、これからもっともっと「皆様」とつながって、私に役に立つこと、私でお手伝いできることをさせていただきたいなあ、と思っています。

「美術館・博物館」「神社・寺院」「コンサート・リゾート」に出かけることが大好きです。美しいものが好きだった小さい頃と同じです。忙しくても、スケジュールとにらめっこで、新幹線に乗り込みます。ゆくゆくはウィーンに行って「ニューイヤークンサート!」手拍子でラデッキーマーチを楽しみたい! 夢はどんどん膨らみます。

ホテルの空間デザイン



<エントランス>

玄関に入った瞬間、思わず天井を見上げる。ペンダントライトの煌めきの位置（高さ）が美しさを左右する。壁の上部に貼った黒ガラスに、煌めきが映りこむ。赤のカーペットで立ち位置を作り誘導する。

空気がうまい家（モデルハウス）



<浴室>

杉材（音響熟成木材）+ モザイクタイル。異素材を組み合わせる時、類似トーンの色を使うと、穏やかでゆっくりと寛ぐ雰囲気ができる。モザイクタイルは縦貼りと横貼りをバランスよくデザイン、存在感を出す。



<ロビー>

クラシックイメージ。反射率を下げる内装コーディネート。ポイントは 部屋内に暗がりの箇所をつくること。天井の付け梁内に入れた照明の光が各格子から漏れないよう、付け梁のサイズとせい（高さ）を決める。

ホテルのテラスデザイン&ライトアップ



もともと「池」があった場所なので「波」をイメージしてデザイン。青色系の100mm角のタイル5種類を叩き割り、5色の破片を組み合わせる波の動きを表現。より躍動感を出すために赤のモザイク大理石のラインで流れを強調。

空気がうまい家（モデルハウス）



<リビング>

「杉材（音響熟成木材）」と漆喰（幻の漆喰）のみの内装。小屋組の美しさのための照明計画。器具2列のコープ照明（間接照明）とペンダントライトで対応。一部、天井を貼っているの、ダウンライトの位置をずらしてバランスをとる。

ホテルの空間デザイン



<離れにあるレストラン>

天井と床、彩度を抑えた同色系にして横弧がりのラインをつくと視線が庭に行く。レストランの華やかさが薄れないよう、天井は大胆なデザインのクロスを使う。照明器具は天井に作ったスリットに収めて大胆なデザインを生かす。

空気がうまい家（モデルハウス）



<玄関ホール>

玄関に入った正面の漆喰壁面。光の立ち上がりが生きるよう、玄関収納に仕込んだ間接照明の明るさを抑えてデザイン。



<キッチン>

L字型のキッチンにダイニングを組み合わせるほぼ正方形になるデザイン。キッチンと収納棚の扉は平板ではなく波状にして、杉材（音響熟成木材）に深みを出す。